

湯梨浜町過疎地域自立促進計画第1回委員会議事録

日 時 平成27年9月4日(金) 午後4時30分～6時35分
場 所 湯梨浜町役場第1・2会議室

1. 開 会 (進行：幹事長)

これより、湯梨浜町過疎地域自立促進計画第1回策定委員会を開催いたします。

開会に当たりまして、町長よりあいさつをお願いします。

2. 町長あいさつ

皆さま、お忙しいところありがとうございます。委員会の開催に際し、この計画第1次案について内容を見てみましたが、人口の推移について見ると、やはり少子高齢化が顕著になっているようです。産業別人口については、第3次産業であるサービス業等に従事する人が増えているということですが、裏を返せば、地元漁業をはじめ農林水産業に従事する人が減っているということでもあります。これから新たな計画を策定する段階に入っていくわけですが、職員含め、委員会においても色々な意見をいただきながら、過疎対策に取り組んでまいりたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

3. 委員紹介 (進行：幹事長)

それでは、委員紹介でございますが、委員の皆さまは平成22年から継続して担っていただいています。皆様のご紹介は不要と思いますが、反対に、課長の交代など、役場担当の変遷がありますので、幹事(職員)の紹介をしたいと思います。

(※職員自己紹介)

4. 町長諮問 (進行：幹事長)

つづいて、町長諮問に移ります。

(※町長より諮問書の読み上げ、会長に諮問書の受け渡し)

(幹事長)

以降の議題につきましては、議長を会長が行うことになっておりますので、会長に進行をお願いいたします。

5. 現計画の進捗状況について (進行：会長)

それでは、現計画の進捗状況について、事務局よりお願いします。

(事務局)

では、事務局よりご説明します。「資料1」をご覧ください。進捗状況につきましては、概ね順調に進んでいる事業、未実施・廃止などの事業について色分けしております。では各

事業の進捗について、幹事より簡単に説明をお願いします。

(※「資料1」に基づき、各幹事が進捗説明)

(会長)

これを受けて、委員の方から質問等ございましたらお願いします。(※質問等なし)

ないようですので、次に移ります。つづいて、過疎地域自立促進計画の概要説明について、事務局からお願いします。

6. 過疎地域自立促進計画の概要説明について

(事務局)

それでは「資料2」をご覧ください。まず、「過疎地域自立促進計画とは」ということですが、過疎計画とは、過疎法に基づき、過疎地域として公示された市町村が地域の自立促進を図るために策定する計画です。湯梨浜町におきましては、泊地域を過疎地域とみなす「一部過疎」に指定されており、現在、計画を策定し、町全体の均衡ある発展と泊地域の自立促進に向けて、各事業を進めているところでございます。今回新たに策定いただく計画は、計画期間を平成28年度から32年度までとする5年間の計画でございます。これまでの計画策定の経過につきましては記載のとおりです。

つづいて、法改正の概要についてです。平成22年、24年、26年それぞれの法改正について概要を載せております。内容は記載のとおりです。

次に策定に係る経過及びスケジュールについてご説明します。当初、県の方から（計画策定について）9月議会議決という流れということで受けておりまして、このため、今年2、3月にかけて泊地域住民意見交換会を開催し、意見等をお伺いしました。結果的に、6月に開催された県説明会で、12月議会議決というスケジュールが示され、再度調整しながら、本日1回目の委員会を開催させていただいたところです。本日以降のスケジュールにつきましては、県ヒアリング等の日程が未定である部分がありますが、概ね記載のスケジュールのとおりで、最終的に12月議会で議決というスケジュールを予定しています。

つづいて、計画体系についてです。今回策定する計画の体系につきましては、現計画同様、大きく10本の柱を掲げています。各項目は記載のとおりです。以上です。

(会長)

そうしますと、次は計画の本文の方に移り、各分野の説明をお願いします。

(事務局)

それでは「資料3」の第1次案をご覧ください。目次に始まり、1ページからは「基本的な事項」ということで基本構想的な部分の記載があります。こちらについては、時間の関係上省かせていただき、19ページからの「産業の振興」から説明を行いたいと思います。

(事務局)

説明については、各項目の各分野において、主に進めていく事業や対策について、各幹事より大まかに説明いただければと思います。

(幹事)

まずは農業についてです。農業においては、高齢化や後継者不足等が今後も進んでいくことが予想されますが、基幹産業であるという捉えから、今後は個人でというよりも集落でいかに農地を守っていくかが重要になると考えます。こういった点から、集落営農組織の構築、農地の集積・高度利用等を中心に農業振興を図りたいと考えます。林業につきましては、山地の荒廃化を防ぐため、引き続き竹林整備や保安林の整備などを実施したいと考えています。

つづいて、水産業については、かつては泊地域の1大産業であったものの、就業者の激減や高齢化の問題から厳しい状況が続いています。しかし、町にとって泊漁港は特色あるものであり、継続して種苗放流や人工漁礁の設置等を行うとともに、栽培漁業センターの協力を得ながら活性化を図りたいと考えています。商業につきましては、近年の大型店舗の進出やネット販売の主流化により、泊のみならず町全体で衰退している状況です。工業についても、立地条件等の問題から誘致が困難になっています。このような中、既存の商業・工業を元気にしたいということから、制度の充実や設備投資等への支援などを中心に事業を進めたいと思います。観光については、泊では海水浴が主流でしたが、レクリエーションの多様化から海水浴離れが顕著であります。一方で、グラウンド・ゴルフが高齢者を中心に活発化していることから、潮風の丘とまりや泊漁港を核とした観光やレクリエーション等、泊地域に人を呼ぶ仕組みづくりについて考えていきたいと思っています。

(幹事)

「交通通信体系の整備」においては、県道や町道、農道について明記してございます。現状を維持しつつということになりますが、現在のところ、町道2路線の改良等、橋りょう点検及び修繕について計画に載せております。国道につきましては、国道9号や山陰高速自動車道の整備の中、将来的に現道の9号線等が泊地域の主要道路になっていくと考えられます。

(幹事)

情報通信につきましては、F T T H等の活用等について挙げております。この事業につきましては、引き続き維持管理を行っていきます。交通の確保については、定期券購入助成ということで進めてまいります。

(幹事)

つづいて「生活環境の整備」におきましては、水道事業関係について挙げております。簡地の水道施設、石脇配水池の更新等を継続して計上しております。将来的に、簡水会計については上水へ会計ごと持っていけないかと、農業集落排水の宇谷・石脇については、特定環境保全公共下水道へ施設の一本化を目指していきたいこと等を明記しております。

(幹事)

ごみの減量化についてです。生活系のごみは減少傾向にあり、本年度スタートした区での小型家電回収による回収も徐々に改修も増えています。これらに併せ、海岸清掃についても引き続き実施していきます。

(幹事)

消防施設についてです。もちろんハード部分も大切ではありますが、現在は特に自主防災組織の組織化に力を入れています。泊地域では、自主防災組織の組織率が低い状態にあり、

本年度から防災対策官を配置し、何とか100%にまで持っていきたいと考えています。

(幹事)

社会福祉の関係です。冒頭にもありましたが、本町の高齢化はかなり進んでいます。各地域の集会所が高齢化に伴って利用しにくい状態にあるのではないかとということで、可能な限りバリアフリー化を進めたいと考えています。これらバリアフリー改修を行う区に対しては助成を行うということで、今回新たに事業を記載しています。また、地域での見守り活動についてですが、ボランティアだけに期待するということでは無償の中なかなか厳しいため、有償ボランティアも気軽に頼めるようなサービス体系を確立し、助け合い体制の中で事業を推進したいと考えております。

(幹事)

今後ますます独居老人、認知症高齢者等の増加が見込まれます。この対策として、今年第6期介護保険事業計画・高齢者福祉計画を策定しました。これに基づいた介護予防施策や、生きがいつくり支援、普及啓発・認知症講座等による対策を行っていきます。

(幹事)

児童福祉につきましては、泊地域は少子化が非常に進んでいる地域ということで、少子化対策等を踏まえ、「子育てしやすいまち」として、これまでどおりソフト事業を充実させながら、「このまちで子育てをしたい」という思いを人口増につなげていけたらというのが1点です。こども園については、非常に子どもの数が減ってきており、より充実した教育・保育の提供、効率的な運営という観点から、統合に向けて進めていくべきであろうと考えています。これに対する整備について事業に挙げています。また、活性化や定住をにらみ、泊地域の特化した保育料の軽減などの対策も視野に入れています。さらに、3歳未満児についてはなるべく家庭で育てていただきたいということで、創生事業の中で家庭保育支援給付金支給事業を創設しました。本年9月からは、第3子以降の保育料無償化も開始しており、既存の出産・入学祝金支給事業や妊婦健康診査事業と併せ、実施していきたいと思います。

(幹事)

「医療の確保」についてです。現在、泊地域の診療所は歯科と内科の一つずつですが、これを増やすのは難しい状況であります。(泊地域意見交換会で)要望のあった診療所の段差改修については、業者も交えて協議しましたが、診療所としては既存のままだと安全であるとの判断ですので、今後いい方法があれば検討したいと思います。また、歯科診療について土曜日健診を要望する声がありましたが、協議した結果、土曜日半日ですが実施いただけることになりました。健診については、医療費削減と健康づくりには各種健診を受けていただくことが第一です。特に泊地域は受診率が低いため、絶えず啓発に努めたいと思います。各種予防接種事業については引き続き実施します。今回新たに健康づくり事業を追加しました。心と体の健康相談や健康教室などを通じ、より一層の健康づくりを呼び掛けていきたいと考えています。

(幹事)

「教育の振興」のまずは学校教育についてです。小学校については、年数の経過により施

設の修繕が必要になってきており、適正な維持管理を行います。児童数も減少しており、今後について、町全体での総合的な検討を進める必要があると考えます。中学校教育につきましては現在、新中学校の建設に向かっています。既存施設については必要な維持管理を、建設後の跡地利用についての検討も行っていきます。

（幹事）

社会教育についてですが、泊分館及びしおさいプラザとまりが同じ敷地内に、少し離れたところに青少年の家があります。泊分館と青少年の家については、老朽化がかなり進んでおり、今後の対応が大きな課題としてあります。しおさいプラザについては、引き続き内容の充実を図っていくことを考えております。今後、泊分館と青少年の家の施設の在り方を考える必要がありますが、ひとまず統合した形がいいのではということで、事業を載せています。

つづいて「地域文化の振興等」です。泊地域には、史跡や過去の歴史を残すような通路もあるため、次期計画では遊歩道の整備に取り組んでいくこととします。また、歴史民俗資料館はかなりの収蔵点数ですが、きちんとした展示ができていないため、整備を行って効果的な展示の内容にしていきたいと思います。最後に、小浜の銅鐸についてですが、舌（ぜつ）とともに発掘され、発見当時はかなり珍重されました。現在は東京の博物館に所蔵されてしまっているため、レプリカを作成し、目に見える形で町民の皆さんに提供したいということで本事業を挙げております。

（幹事）

「集落の整備」についてですが、この分野につきましては、人口減少に対して、集落をいかに活性化していくかということでございます。今回、お試し住宅の整備について新たに入れました。また、地域おこし協力隊を導入し、お試し住宅や移住定住・空き家対策において、この人材を活用しながら泊地域に人を呼び込むことができないかということで、実施するものです。その他既存の事業については、引き続き実施してまいります。

「その他地域の自立促進に関し必要な事項」の新エネルギーにつきましては、引き続き、太陽光発電システムの設置を行ってまいります。以上です。

（会長）

ただ今、各項目の概要、32年度までの事業計画等を説明いただきました。説明や資料等について、質問等ある委員がおられましたらお願いします。

（委員）

観光及びレクリエーションのグラウンド・ゴルフについてですが、事業計画としては、ふるさと公園の施設整備や大会の補助金等が挙げられています。この各種大会について、大会を通じて人口の拡大・利用者の増加させることが対策でうたっていますが、実績からしてこれ以上参加人数が人数を増やせない（発祥地大会では毎年最大収容数の参加者）中、この対策だけでは難しいのかなと思います。例えば、若年層の参加人数を増やすとか、泊地域の競技人口を増やすといった計画（記載）がもう少しあってもいいのではないかと思います。

（町長）

おっしゃるとおりです。そういうこともあってジュニアグラウンド・ゴルフなどの大会も開催しているところであります。今回、多くの人を楽しみながら健康を高めてもらいたいという思いから、創生事業の中で用品の購入に対する補助等も行っております。

(委員)

町道・長清寺線の改良について長さ520mとありますが、ルートについてもう一度教えていただけないでしょうか。

(幹事)

長清寺線改良520mの計画についてですが、これまでの実績につきましては、用地交渉等の関係から難しかったということです。この520mの計画につきましては、泊小学校辺りから長清寺、それからJR泊駅付近の墓地までを結ぶ路線ということになります。

(委員)

ぜひ進めていただきたいと思います。国道9号とJRの箇所に橋が架かりましたが、なかなか利用率が少ないのではと感じており、寺や墓地への利用の便がより良くなればと思っていますので、進めてもらいたいと思います。それから、橋りょうの点検・修繕ですが、以前調査等されていたようですが、それは事業に関連してでしょうか。

(幹事)

橋りょうの長寿命化ということで、以前から15m以上の橋・15mから5mの橋・5m未満の橋について、鉄筋が出ていないかななどを重要な橋りょうから点検し、必要に応じて修繕しています。なお、泊分館から小学校へ渡る歩道橋に関しては、修繕が完了しています。

(町長)

私が言うのもなんですが、計画内の統計資料等については最新の情報、年次をそろえるようお願いします。それから、後に説明があるかもしれませんが、先ほど公民館の統合等の話もありましたが「小さな拠点づくり」についても記載が必要ですし、風力発電についても単に実施だけでなく、耐用年数も迎えますから、今後どうするのかということも次回の委員会の際には計画に挙がってくるものと思います。

(幹事)

現在、総合戦略を並行して策定を進めています。先日素案ということで出しましたが、タイムラグがあり、過疎計画には挙がっておりません。現在は公民館だけの複合的施設として挙げられていますが、福祉施設等も含め考えていかないといけないのではというところです。

(会長)

では今後、過疎計画にも挙がってくる可能性があるということですか。

(幹事：企画課長)

総合戦略の方に載せていきますから、(必然的に)過疎計画にも挙がってきます。

(町長)

先ほど公営住宅に関する説明が抜けていたようですので。(お願いします)

(幹事)

公営住宅に関しましては、一部老朽化が進んでいるところがあり、引き続き維持管理に努

めてまいりたいと考えています。

(会長)

(民間を活用した) P F I 方式については、県下で例はないようですが。事業計画の中には挙がってきますか。

(幹事長)

町営住宅につきましては、何年か前に次の計画というのが立てられていまして、やよい団地でしたか、次どうするかという議論がこの計画には入ってきてませんので、会長がおっしゃった内容も含めながら、町営住宅をどうしていくかということが必要になってくると思います。

(委員)

文化財史跡等環境整備ですが、先ほど保安林の関係で出ていましたが、あの辺り確かに荒れていますので、手を入れていただければすごくきれいになると思います。それから河口城跡ですが、観光の一つの目玉というか、夕日や漁火を見るのによいスポットだと思います。また、原・筒地線についても歩く人もいらっしゃいますし、地域の魅力を増すという意味で、例えば小学校から直に河口城に行けるような整備を行えば魅力あるものになるのではと思います。民俗資料館も貴重なものがたくさんありますが、とても多くて並べ方が良くないので、きちんと整理していただけたらと思います。今有るものを生かすということで。

それからもう一つ。小浜の銅鐸のレプリカですが、私もこれはいいなと思いましたので、強ちに推進をお願いします。今年、淡路島の方でも銅鐸が出たとのことで、関心も集まっていると思いますので。

(会長)

住民との意見交換会、かなり多くの意見があったと思いますが、それについてまとめたのが「資料6」でしょうか。

(幹事)

そうです。各意見・要望に対し、各課の対応方針について書いております。

(会長)

保育所の統合について計画にありましたが、意見・要望等を見ると反対意見もあるようですが、これについては住民理解がしっかりと得られているのでしょうか。

(幹事)

まだ内部の方でも協議が詰まっていない状況で、完全に統合するか、一部保育機能を残すかということも含め、十分に協議を深めながら進めていかなければと思っています。

(幹事長)

この問題については、もう2年ほど前から、保護者の意見についても結構担当課が聞いています。保護者会の中では、統合もやむを得ないという意見、子どもにとっては統合の方が望ましいという意見が結構出ています。そのあたりの意見も含め、早めに検討していかないと、今の状態では預ける保護者がいい方向でないという結論が出ていますから、それも含めた計画だと思います。

(町長)

統合については、まだ町としてきちんとした方針が出ているわけではないですが、1学年の人数が少ないと、クラスもみんな（ずっと）一緒ということもありますし、同級生も当然少ないということで、そのあたりの問題意識を持つ保護者も多いというところです。

(幹事)

先ほど会長から統合についてかなりの反対があるとのことでしたが、私どもが実際に意見交換会に行った際には「(地域に保育所が) あればいいのにな」というような印象であったと思いますが、これらがその際に出てきた保育所関連の意見であります。これに基づいて、統合の方向性については今後も検討しなければいけませんが、(統合の計画については) 担当としての考え方として挙げさせていただいているものでございます。

(会長)

それから買い物に支援に関する内容ですが、行政でなく民間のサービスを利用するというのですが、行政として何か支援というものはできないものでしょうか。

(幹事)

まだ詰めていないのですが「小さな拠点」の中で、社会福祉施設や買い物施設の併合ということもあります。これについては実施が可能かどうかも含め、まだ研究が必要ですが。

(会長)

「小さな拠点」に関しては、いい効果が表れているところもあるようですから、ぜひ検討してください。

(委員)

風力発電についての見通しはどうでしょう。

(町長)

見通しについてはまだです。しばらくは耐用年数がありますから、それまでに建て替えるのか、単に回しておくのか、今後選択していかなくてはなりません。

(委員)

今、遊休農地についての問題があります。こうして計画に方針が示されておりますので、これに沿って可能な限りやっていただきたい。また、区などから要望があった際にはなるべくいい方向になるよう努めていただければと思います。

(町長)

農業面については、創生事業の中でも取り組んでいきますし、JAの方でも新甘泉の栽培を増やしていきたいという気持ちをお持ちのようですし、農業に関してはこれまでより一段取り組みに力が入っていくものと思います。

(事務局)

※今後のスケジュールの再確認、総合計画アンケートの参考提示

※委員より「資料5」の数値について指摘、一部修正

(会長)

また疑問等ありましたら9月15日までに事務局の方をお願いいたします。

(委員)

泊体育館と青少年の家について、面積やらの関係で耐震基準の対象外という話がありましたが、それについては大丈夫なのですか。

(幹事)

義務的でないということから今現在実施していないということで、危険性は少ないということですが、確たる保証はないわけですが。

(町長)

青少年の家はともかく、体育館の方の耐震は必要だと思います。

(幹事長)

過疎債を活用して。

(会長)

これで第1回委員会を終了します。次回は10月中旬ごろということでよろしくお願いします。ありがとうございました。